

EDGE-NEXT

グローバル人材としての自覚と資質を醸造するために、本校では、山形大学国際事業化研究センターが主催する、文部科学省次世代アントレプレナー育成事業である「山形大学 EDGE-NEXT 人材育成プログラム」に参加し、大学生や社会人向けの起業家教育を受講した。

5月、6月の基本講座を受講しながら、7月には山形大学と連携協定を結んだ。

講義はオンラインでの受講を基本としたが、希望生徒は本校が参加しない講義についても山形大学に足を運び、講義を受けた。

【2019年度 EDGE-NEXT 参加講座】

日時/場所	内容	講師
5月25日 /本学	人を動かすプレゼンテーション	外資系大手 IT 企業 澤 円 氏
	Idea, Passion, Start with Why ～人は「What」ではなく「Why」に動かされる～	(株) Just on time 代表取締役社長 Manjot S. Bedi 氏
6月22日 /本学	グローバルコミュニケーションの実践	リリース・トランサポート通訳者 莉々 紀子 氏
12月7日 /山形大学 米沢キャンパス	ケースディスカッション「株式会社いろどり」	慶応義塾大学湘南藤沢キャンパス 一般財団法人 SFC フォーラム事務局長 廣川 克也 氏
	基調講演	Google Japan 原 邦雄 氏

上記以外に、Edge-Next のプログラムの一つであるグローバル・コミュニケーションズ（実践的英語コミュニケーションスキルプログラム・全6回）にも多くの生徒が参加した。

さらに、8月に行われた「みちのくイノベーションキャンプ」にも3名の生徒が参加し、ソーシャルビジネスについて実践的に学ぶことができた。

・澤円氏の「人を動かすプレゼンテーション」では、講義自体がプレゼンテーションの模範を示しており、写真の使い方や話し方などの具体的な工夫が見られた。素晴らしいプレゼンは、何かを始めたくなるやめたくなる、変えたくなる、会いたくなる、伝えたくなるものである。聴衆に、持って帰って配れるものをプレゼントするのがプレゼンテーションであるということを学んだ。

・廣川克也氏によるケースディスカッション「株式会社いろどり」では、徳島県上勝町で葉っぱ（つまもの）を中心とした新しい地域資源を軸に地域ビジネスを展開し、20年以上にわたり農商工連携への取り組みを町ぐるみで行っている事例をもとにしてグループディスカッションを行った。ディスカッションにおいて重要なのは関係の質からスタートすること。思考の質も高まり、行動の質が高まり、結果の質が高まるということを学んだ。ケースディスカッションは、慶應義塾大学や立命館大学などで行われているもので、ケース（実際の企業、組織が有する経営課題を記述した教材）を事前に読み、各々の視点で経営分析を実施し、経営課題に対しての意思決定の内容やその理由を教員の誘導の下で発表し、他の受講生や教員と議論していく。ケースは学習教材だが通常の教科書的なものとは異なり、内容は経営現場の各シーンの事実やデータ、登場人物の会話等が書かれている。学ぶべき知識や理論などの答えはケース内にはほとんど与えられておらず、受講生自身が討議を通じて考えていくことが求められており、受講生自身が主体的に学ぶ学習方法である。